

喫煙マナーの向上と喫煙所の設置の提案

鳥居と尾崎 2023

1

はじめに

- 喫煙者と非喫煙者の共存を目的し、喫煙マナーの向上と喫煙所設置を提案。
- 公共の場における健康被害防止と快適な環境作りが目標。

2

喫煙者マナー

- **ポイ捨て**
- 現状：路上や公園に捨てられるタバコの吸い殻は、清掃コストの増大や環境汚染の原因。
- 問題点：水溝や下水に流れ込み、有害物質を放出する可能性。



3

- **被害（受動喫煙）**
- 喫煙者が公共の場所や喫煙することによる影響
- 健康被害：非喫煙者への受動喫煙が重大な健康リスクを引き起こす（がん、心疾患など）
- 世界保健機関（WHO）の報告では、受動喫煙が原因で毎年約120万人が死亡しているとされています。
- 日本国内：国立がん研究センターの調査や厚生労働省の報告では、受動喫煙が原因で年約15,000人が亡くなっているとされています。

4

喫煙者と非喫煙者の間の摩擦の実態

- 日本たばこ産業（JT）の調査結果
- 非喫煙者の65%が「喫煙者のマナーに不満」と回答。
- 喫煙者の約30%が「非喫煙者から視線が強い」と感じる。

5

アンケート

6

マナー向上の重要性

- 健康面の配慮
- 非喫煙者や子供への健康被害の防止
- 公共の秩序
- ポイ捨てや火の不始末による環境への悪影響
- 喫煙者のイメージ向上
- マナーを守ることで社会的な信頼を得る
- 地域社会との共生のため

7

喫煙所設置の必要性

- 喫煙者と非喫煙者の分離による健康被害の軽減
- ポイ捨てや火災リスクの低減
- 社会全体でのルール遵守の促進
- 喫煙所設置によるコミュニティスペースの整備

8

他大学での成功事例

- 喫煙所設置により、公共空間の清潔さが向上した地域の例



9

喫煙マナー向上の取り組み

- 普及活動
- 喫煙マナーに関するポスター掲示や設備での告知
- 喫煙マナー違反の受検
- モニタリングとフィードバック
- 喫煙マナーの守状況を定量的に調査
- 水煙草・紙煙草からの悪臭を反映
- 禁煙支援
- ふいばへの禁煙プログラム提供
- 禁煙サポート協会の活用

10

期待される効果

- 喫煙者のマナー向上、非喫煙者の健康リスク軽減
- ボイスメテや強い煙による周辺汚染の減少
- 清潔で安全な街作りと健康意識の向上

11

喫煙所設置の際に起こる問題

- 法的問題
- 都市計画法の規制
- 大学は「屋内全面禁煙」が義務付けられており、喫煙所を屋内に設置することは違法です。屋外の設置も分煙や受動喫煙防止対策を講ずる必要があります。
- 自治体との調整
- 喫煙所設置に際しては、地域住民や自治体からの反対意見が出る可能性があります。

12

- コスト問題
- 設置費用
- 喫煙所を設置するには、以下の費用が必要になります：
- 設備の設置（灰皿、分煙機、屋根など）
- 清掃費やメンテナンス費
- 運用コスト
- 喫煙所の清掃や維持にかかるコストが、大学の負担となる。

13

- 喫煙者制の問題
- 利用ルールの策定
- 喫煙者が定められた喫煙所を利用せず、喫煙エリア外での喫煙やサイ捨てを続ける可能性
- 喫煙所の混雑
- 喫煙者が多い場合、喫煙所が混雑し、利用時間の長期化やマナーの低下が懸念される。

14

喫煙者と非喫煙者の共生のために

- 相互理解と配慮が重要
- ルールを守ることによって双方が気持ちよく過ごせる環境づくり
- 持続可能な社会のための共同の取り組み

15

まとめ

- 喫煙者のマナー向上と喫煙所の設置は、非喫煙者との共生のために必要
- 受動喫煙やサイ捨ての問題解決に貢献
- 大学全体の快適な空間づくりを推進するための重要なステップ
- 喫煙所の設置は喫煙者と非喫煙者の共存を図る一方で、課題を伴うため、設置の是非は慎重に検討する必要があります。

16

参照

- 「日本たばこ産業」
URL : <https://www.jti.co.jp/index.html>
- 「厚生労働省」
URL : <https://www.mhlw.go.jp/tookei/issu/168-1.html>

17